

県立裾野高校再編に抗議し、地元住民への説明を求める意見書

静岡県教育委員会は、裾野市、御殿場市、小山町を対象とした北駿地域協議会において、裾野高校・御殿場高校・御殿場南高校の3校を統合し、新たな単位制高校を御殿場南高校の校地に設置するグランドデザインを示し、知事は、新設校の令和14年度の開校予定の前倒しを指示したとの報道もなされている。

そもそも裾野市は、中駿地区であり、病院や企業名にも「中駿」が長らく使用されてきている。市外から裾野高校へ通学する生徒は、北駿地域よりもむしろ三島市や南駿エリアの方が多く、高校再編を北駿の枠組みで論じられること自体が実態を反映しておらず、多くの市民が違和感を覚えている。

グランドデザインの発表から半年以上経過したが、地元住民への説明会等は一切開催されておらず、多くの市民から、県の対応は一方的で不誠実であるという声が上がっている。

裾野市及び裾野市民にとって、身近な進学先が失われ、通学に要する時間や費用の負担が増し、各種イベントへの参画、地元企業とのつながりが希薄となるなど、直接、間接の影響は深刻である。

裾野市議会は、地元住民や関係者への十分な説明がないままに、再編について学校名を挙げて公表したことに抗議するとともに、グランドデザインの推進によって見込まれる様々な影響と、市民の声に鑑み、次のことを求める。

1. グランドデザインに関し裾野市で説明会を早急に開催すること。
2. 高校再編が裾野市に及ぼす影響を、分かりやすい資料で市民に示すこと。
3. 在校生及びその保護者をはじめとする関係者との意見交換、協議の場を設置すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年2月25日

静岡県裾野市議会

静岡県知事 宛
静岡県教育長